

第3回 国道357号社会実験推進協議会

- 今後の活動方針(案) -

平成16年12月14日(火)



目次

1. 東関道への転換促進に向けての対応(案) P2

2. アンケート調査の実施 P4

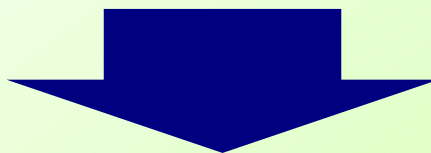
2-1. アンケート調査対象と調査項目

2-2. スケジュール

1.東関道への転換促進に向けての対応(案)

1. 東関道利用促進に向けての対応(案)

- ・湾岸習志野ICのETC利用車は増加したが、国道357号の交通量減少が顕在化するには至っておらず、一層の東関道の利用促進が望まれる。
- ・PA等へのチラシ設置、ラジオ、路上看板が、社会実験の周知に有効な媒体であった。



引き続き広報活動を行い認知度を一層高め、転換を促進する。

湾岸幕張・幕張・鬼高の各PAへチラシを追加配布

ラジオによる広報(首都圏一円)を引き続き実施(12月下旬に放送予定)

路上看板も継続的に設置

2. アンケート調査の実施

2-1. アンケートの調査対象と調査項目

アンケート調査は、一般道路利用者・地域企業・沿道住民を対象として行う予定である。

< アンケートの調査対象と調査項目 >

	一般道路利用者		地域企業		沿道 住民
	参加	非参加	参加	非参加	
1. 実験の直接効果について 湾岸習志野ICの利用の有無 料金引きによる行動変化の有無、その理由 今後の利用意向					
2. 実験の非参加について 実験に参加しなかった理由 実験に参加する条件 今後の利用意向					
3. 交通状況の変化について 国道357号の混雑緩和 東関道やその他周辺道路の混雑緩和					
4. 生活活動への効果について 通勤・通学の利便性、行動範囲の拡大 買い物などの利便性、行動範囲の拡大 レジャーなどの利便性、行動範囲の拡大					
5. 企業活動への効果について 速達性・定時性 輸送コスト、労働時間 活動範囲の拡大					
6. 沿道環境への影響について 生活道路の交通環境の改善 沿道環境(騒音)の改善					
7. 社会実験の認知度、媒体					

2-2.スケジュール

第3回協議会(12月14日開催)で承認後、平成17年1月正月明けに配布予定である。
(郵送配布、郵送回収を予定)

ホームページでも同様のアンケートを実施する予定である。

<アンケート調査のスケジュール>

12月			1月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	第3回協議会 (12月14日)		配布(1/7予定)		回収(1/23投函予定)
			ホームページによるアンケートの実施		